

同窓生のコラム



「笑点」の顔とも言われて

高13回 竹内 大三



そして昭和46年から「笑点」のオープニング。28才でした。



昨年の5月に制作しました。今年中にアルバム制作します。

番組は7年目。

フリーになっていた先輩達の描いたカレンダーをオープニングに使いたいからと私に役が回り気軽にスタート。

その後、別の人が描きました。2年程して番組の名物ディレクターが「オープニングを一新したいので一番面白かった出来の人に」と私に白羽の矢が立ちました。

子供向けが100%近いアニメ



メ界には、大人の落語や演芸に精通し洒落が解り似顔も描けるという人材は、他には見当たらないのでした。

以来私一人で落語・歌舞伎・浮世絵・昔話・スポーツ・ヒーロー・商売などのテーマをタッチを変え描き続け、スタートから20年程はTVに名は出ず知名度は無し。その間、アニメ会社は四社消滅し、元々会社として関る必要は無く今日私一人の名前になり、ようやくスッキリ致しました。これは無上の喜びというもの。しかも超人気番組に成長しグッと注目度も認知度も増した昨今です。

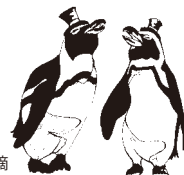
人との出会いが未来を創る 県陵に感謝!

高35回 水橋 史希子



ここまで20作品程、コンテは50本強、実に四十数年。正に私自身の嵌り役だったのでしよう。ここまでできますと、「笑点」が終るか、その前に私が死ぬかです。

「笑点」にかけて 竹内大三と解く。 その心は 昇天だァー アガッターア アガタァー と母校に敬意を払った ところ、 お後がよろしいようで。



白虹会 3年 三澤果摘

2013年開催の第46回県陵東京同窓会の実行委員として活動させていただき、諸先輩方、同期、後輩の皆さまとの出会いが私にとって大切な一生の宝ものになりました。

心から感謝しております。

実は県陵生だった頃、私はあまり勉強する気にならず、特に理数系が苦手でした。中学生ま

では親の期待に応える真面目な子どもだったのですが、いわゆる反抗期、自分探しの時期だったのかもしれない。化学の先生が心配して、授業中に私の机の前に張り付いていたことを思い出します。でも、自由な校風のおかげで友だちにも恵まれ、楽しく過ごすことができました。

今考えるとあの時のモヤモヤ期間は自分を客観視し、自立す

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業



代表取締役 百瀬方康(高22回)

本社：長野県松本市宮淵1-3-30 〒390-8639
TEL 0263-32-8855 FAX 0263-35-1618

天神 深志神社

TEL 0263-32-1214

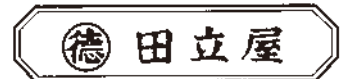
深志神社 梅風閣

TEL 0263-32-6310

宮司 遠藤久芳(高19回)一九会

〒390-0815 松本市深志3-7-43
FAX (0263)32-5908

TADACHIYA
SINCE 1848



代表取締役 大宮康彦(高17回)

長野県松本市大手3-3-4(大名町)
TEL 0263(32)0057 FAX 0263(34)2561